

2025 (R7) 年3月総会最終答申

○はじめに―「河原自治会運営改善会議」の二年

令和4年9月実施の区民アンケートを受け、令和5年3月の区総会で設置が承認された「河原自治会運営改善会議」は、次のように会議を行い議論を重ねてきた。

委員：高井儀浩（議長）、小野孝治（副議長）、門坂恵美子、杉原博司、竹田恵里、田引拓也、深井茂男、
増田美佐代、藪上 健

会議：（令和5年度）①5/21 ②6/18 ③7/15 ④8/19 ⑤10/22 ⑥11/18 ⑦1/21 ⑧2/17
（令和6年度）⑨4/21 ⑩6/22 ⑪8/18 ⑫9/21 ⑬10/20 ⑭12/21 ⑮1/26 ⑯2/25

〈報告事項〉

（1）本年1月実施区民アンケート集計結果 → p 3～10

（2）防災士と防災組織について

防災士の希望が皆無であるため、防災士の設置と防災組織の検討は進められないと判断する。ただし、防災については近年とみに重要性が高まってきている課題であるため、区役員と自警団により、年度ごとに検討を行って頂きたい。

（3）「まるごと事業」について

参加希望者が少ない。また、人数が多すぎると怪我のリスクも高まる。区の中で一定の位置づけが出来てきているので、農組を中心に少しずつ広がっていくのが望ましい。

（4）自警団・婦人会と「元気かい」の間の団体の設置について

積極的な意見が少ないため、設置は見送る。ただし、有志による熟年会の復活は支持意見もあり進める。また、「サロン」活動等、区のための活動を行う動きは望ましいものと位置付ける。

（5）修繕・危険個所について

- ①区内（大字区域）の小川の濁水について、区に検討を依頼する。
- ②天満宮、浄光寺東など生活に支障や危険のある樹木は業者による伐採の検討を区に依頼する。
- ③7，8班のごみステーション新設は、本会議議長が区と相談して実現に向けて努力する。

（6）街灯の新設について

自警団による調査と今回のアンケート結果を区長に引継ぎ設置を進めてもらう。

（7）「河原自治会運営ハンドブック」について

別冊のファイルを一家に一冊常備する。本冊子は、毎年の区総会に必ず持参してもらう。記載内容に変更がある場合は、総会時、該当ページを新しく差し替える。

〈提案事項〉

(1) 防犯カメラの設置について

設置の方向で進める。場所はアンケート結果から「天満宮、会議所、ふれあい広場」を中心に考える。ただし、維持管理については十分に検討する必要があるため、「防犯カメラ設置委員会」を設けて検討し、来年度の区総会で具体的な提案を行う。この委員会は、本会議委員を中心に構成する。

(2) 天満宮施設建設について

アンケート集計から、賛成が過半数ではあるが、記述の内容から賛成でも慎重な人が多いと考えられる。費用がどれくらいかかり、負担がどれくらいになるのか、具体的な案を提示しないとしっかりした賛成反対の意思決定ができないと考えられる。「建設ありき」ではなく天満宮施設の建設について検討する委員会（「天満宮施設建設検討委員会」）を設置し十分な時間をかけて具体案を作り、改めて区民に賛否を問うこととする。この委員会は、本会議委員を中心に構成する。

(3) 本会議の解散と「(仮称) 河原の歴史と民俗ハンドブック」作成について

本会議は本日をもって解散する。ただし、本会議議長を中心に河原の歴史と民俗についての冊子を数年の時間をかけて作成する。

(4) 区の補助金を受けている団体の会計報告等について

区の補助を受けている団体は、3月末に会計決算報告と翌年の構成人数を区に報告する。